

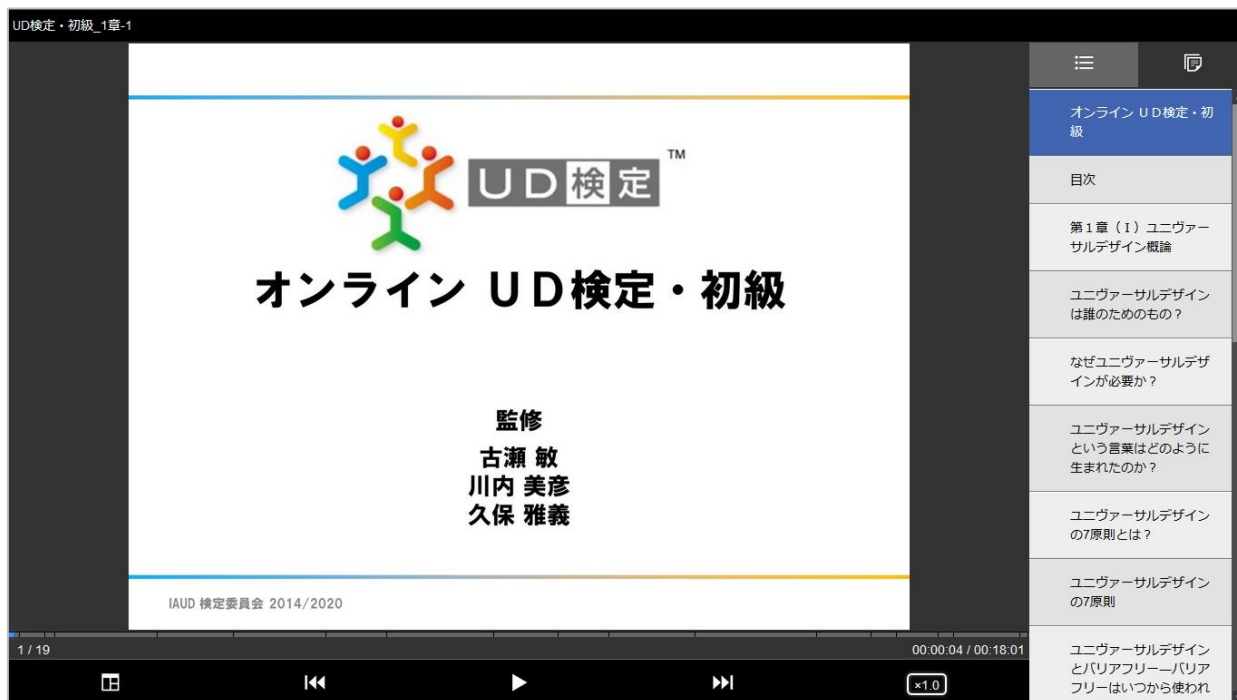
## IAUD Newsletter vol.13 第3号(2020年6月号)

1. オンライン 第1回 UD 検定・初級実施報告／オンライン第2回 UD 検定・初級開催案内・・・ 1
2. IAUD 国際デザイン賞 2019 受賞紹介⑤・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
3. IAUD 国際デザイン賞 2020 募集中・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
4. CM 字幕アンケート 2020 実施中・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
5. 新型コロナウイルス感染対策 簡単なマスクの作り方をご紹介・・・・・・・・ 9
6. 「国際 UD 会議 予稿集・論文集・講演集 2002～2019 年」セット販売のお知らせ・・・・ 10



### 在宅で好きな時間に UD を学び資格習得

オンライン 第1回 UD 検定・初級実施報告及びオンライン第2回 UD 検定・初級開催のご案内



どこでも UD を学べる「オンライン UD 検定・初級」講習画面

IAUD では、ユニヴァーサルデザイン(UD)の更なる普及と実現をめざす一環として、2012 年より「UD 検定」を実施しています。これまでに全国各地で「UD 検定・初級」を 16 回、「UD 検定・中級」を 10 回開催し、多数の合格者を輩出してきました。

そして、2020 年度からはより多くの方に受験していただけるよう、24 時間いつでも場所を問わず受験可能な「オンライン UD 検定・初級」をスタートしました。

今号の Newsletter では、「UD 検定」の概要と 4 月に実施した「オンライン 第1回 UD 検定・初級」の報告、さらに「オンライン第2回 UD 検定・初級」開催についてご案内します。

## UD 社会の実現に向けて

2021 年の「東京オリンピック・パラリンピック」及び 2025 年の「大阪・関西万博」開催に向けて、多様な生活者のための持続可能な共生社会を目指す UD の考えが再び注目されています。

UD は身近なモノやサービスだけでなく、地球環境、安全・防災、平和・国際貢献といった広い分野に関わっています。UD を理解し推進するためには、それぞれの分野での生活者のニーズや UD 配慮点、事例などを把握することが不可欠です。

国内最大の UD 推進団体である IAUD が 2012 年より実施している「UD 検定」では、このような幅広い分野の UD の知識と、一歩踏み込んだ内容を理解することができます。

## UD の基本的知識を習得できる「UD 検定・初級」

「UD 検定・初級」は、UD を生活に取り入れて QOL(生活の質)を向上させたい方、仕事に活かそうと思っている方、UD を更に詳しく知りたい方などを対象にしています。

UD に関する見識を高め、人に優しく環境に負荷をかけない商品やサービスを選ぶ正しい知識を身につけることができます。

また、社会における多様な人々の存在を理解し、思いやり、おもてなしの心を養うことができるので、オリンピックや万博などのボランティア活動などにも役立ち、地域社会や特定のニーズを抱えた人たちのために貢献することができます。

「UD 検定・初級」は、UD に関する基礎的知識を学習する 2 時間の講習会と 1 時間 50 問の検定試験の 2 部構成セット形式で行われ、講師は著名な UD 専門家が担当してきました。

これまでに東京、横浜、浜松、名古屋、大阪、神戸、福岡など全国各地で 16 回開催し、UD に興味のある一般の生活者にも多くご参加いただきました。初級認定者(検定合格者)は計 679 人になります。

※これまでの「UD 検定認定者・初級」は[こちら](#)をご覧ください。



「UD 検定・初級」講習会の様子

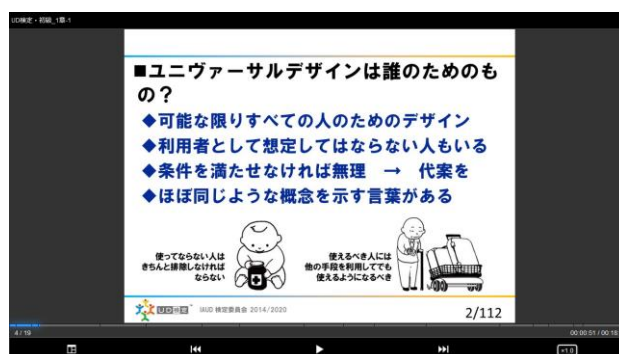
## オンラインでいつでもどこでも受験可能に

IAUD はより多くの方に「UD 検定」を受験していただくため、インターネットがある環境であれば時間・場所を問わず講習から検定試験までを受けられる「オンライン UD 検定・初級」を 2020 年度よりスタートし、4 月に第 1 回目を実施しました。

「オンライン UD 検定・初級」では、まず UD に関する基礎的な知識を学習する講習を 2 回受講していただきます。

講習の監修は、古瀬 敏氏(IAUD 理事長／静岡文化芸術大学名誉教授)、川内 美彦(東洋大学元教授)、久保 雅義氏(京都工芸繊維大学名誉教授)です。講習はナレーションが流れ、ナレーションのテキスト表示も可能です。

講習受講後には、検定受験する前にどの程度理解できたかを試す「力試し問題」をしていた



「オンライン UD 検定・初級」講習画面

できます。理解度が不十分とお考えの場合は、期間内であれば何度でも再受講が可能です。

その後、検定試験を受けていただきます。30分50問で、問題はすべてオンラインで受講した講習内容から出題されます。

合否は終了後すぐに判定されます。合格基準は総合得点70%以上で、合格者には「UD 検定・初級 認定証」が郵送されます。

「オンライン 第1回 UD 検定・初級」では受講者全員の23人が合格されました。



UD 検定・初級 認定証

## オンライン第2回 UD 検定・初級開催！

IAUDは「オンライン第2回 UD 検定・初級」を実施します。講習1は6月21日(日)～30日(火)まで、講習2は7月3日(金)～12日(月)まで受講していただき、検定試験は7月14日(火)～21日(火)まで受験していただきます。

申し込み締め切りは6月17日(水)です。この機会に是非、ご参加ください。

※「オンライン第2回 UD 検定・初級」の詳細は[こちら](#)をご覧ください。

## UD 推進に必要な知識を学ぶ「UD 検定・中級」

「UD 検定・中級」は、企業でサービスの提供やものづくりに携わられる方、または行政で UD を推進される方を対象としており、「UD 検定・初級認定者」でなくても受検できます。

UD を推進するにあたって必要な UD の概念や歴史、サービスの提供やものづくりの基盤となる法令・規格、多種多様なユーザー特性を学びます。

また、建築やまちづくり、コミュニケーション、住宅、生活用品など各分野の考え方や具体事例、地球環境保全、安全・防災、平和・国際貢献など地球的・社会的なテーマと UD の関わりについても学びます。

「UD 検定・中級」では検定試験対策に、検定ポイントの解説や企業の UD 活動事例紹介など UD に関するさまざまな知識・情報を習得できる事前講習会も実施してきました。

検定試験は2時間140問で、試験問題は「UD 検定・中級」公式テキストブック「知る、わかる、ユニヴァーサルデザイン」に準拠して出題されました。

2015年よりこれまで東京、名古屋、横浜、浜松など全国各地で10回実施し、企業でUDを推進している方やUD関連商品の開発に携わってきた方などにご参加いただきました。中級認定者(検定合格者)は計118人になり、「UD 検定・中級 認定証」を発行されました。

※これまでの「UD 検定認定者・中級」は[こちら](#)をご覧ください。



「UD 検定・中級」試験会場の様子



UD 検定・中級 認定証

## 「UD 検定・中級」受験には公式テキストブック必読

現在、「オンライン UD 検定・中級」も開催準備中です。オンライン受験には公式テキストブック「知る、わかる、ユニヴァーサルデザイン」をぜひご活用ください。

本書は各専門分野の第一線で活躍する方々に執筆いただき、具体的な事例を含め、広範な UD の知見をまとめました。UD に関する文献は数多くありますが、本書は 1 冊で UD の幅広い分野を網羅しています。

また、検定受験者だけでなく、すべての人にとって使いやすい商品やサービスを提供したい、住みやすいまちづくりをめざしたい、とお考えの方々にも非常に役立ちます。

UD に関心のある方は、ぜひ本書をご利用ください。

※公式テキストブック「知る、わかる、ユニヴァーサルデザイン」詳細は[こちら](#)をご参照ください。



公式テキストブック



## 革新的な UD 活動や提案を国際的に表彰

### IAUD 国際デザイン賞 2019 受賞紹介⑤

IAUD 国際デザイン賞 2019 受賞紹介の第 5 回目は、ソーシャルデザイン部門金賞を受賞した須磨ユニバーサルビーチプロジェクトの「障害者がやりたいことを諦めずにチャレンジし実現できる社会」です。

ロジャー・コールマン審査委員長(英国王立芸術大学院名誉教授)は「障害者がやりたいことを諦めずにチャレンジし実現できる社会」については、「総合的なレクリエーショングループ活動が非常に多様に組み合わせられ、革新的な製品と技術も使われている着想にあふれる活動。市民参画にも貢献している」と評価しました。

今号の Newsletter では、「障害者がやりたいことを諦めずにチャレンジし実現できる社会」を須磨ユニバーサルビーチプロジェクト代表理事の木戸 俊介氏に紹介していただきます。



IAUD 国際デザイン賞 2019 プレゼンテーション／表彰式の様子(2019 年 12 月、東京・赤坂)

※IAUD 国際デザイン賞 2019 受賞結果は[こちら](#)をご覧ください。

IAUD 国際デザイン賞 2019 審査講評は[こちら](#)をご覧ください。

※2019 年 12 月に開催された「IAUD 国際デザイン賞 2019 プレゼンテーション／表彰式」開催報告は[こちら](#)をご覧ください。

※IAUD 国際デザイン賞 2019 受賞紹介①は[こちら](#)をご覧ください。

IAUD 国際デザイン賞 2019 受賞紹介②は[こちら](#)をご覧ください。

IAUD 国際デザイン賞 2019 受賞紹介③は[こちら](#)をご覧ください。

IAUD 国際デザイン賞 2019 受賞紹介④は[こちら](#)をご覧ください。

## 誰もが自然の中でアウトドア活動を楽しめるために

IAUD 国際デザイン賞 2019 金賞:「障害者がやりたいことを諦めずにチャレンジし実現できる社会」 須磨ユニバーサルビーチプロジェクト



ビーチマット上で記念撮影する「須磨ユニバーサルビーチプロジェクト」メンバー

### みんなの「できない」を「できた！」に変える

「須磨ユニバーサルビーチプロジェクト(須磨 UBP)」は、神戸市須磨区にある須磨ビーチを障害者や高齢者など誰もが安心して利用できる UD ビーチにするなど、自然の中でみんなが一緒にアウトドア活動を楽しめる機会を提供している NPO 法人です。

日本では UD はアウトドア活動にあまり対応していないため、障害者は自然を楽しむ選択肢が与えられず諦めてしまうことが多いのが現状です。

この状況を変えるために、須磨 UBP では海や山などの自然を、健常者も障害者も一緒に楽しめる UD の場にしよう、と活動しています。

合言葉は「みんなの『できない』を『できた！』に変える」。できないと諦めていたことが、できたときの達成感、特に障害者やその家族の感動は格別です。その感動を糧に、次のチャレンジを産みだせています。

### 誰もが海水浴を楽しめる UD ビーチ

須磨 UBP は 2017 年より、須磨ビーチを障害者や高齢者、小さなお子さんをお持ちの家族など誰もが気軽に安心して海水浴を楽しめる UD ビーチにしよう、と活動をしています。

まずは、車いすのまま砂浜を移動できる特殊な「ビーチマット」を、シーズン中の毎週末に波打ち際まで設置しました。このビーチマットは砂地に足を取られることがないため、ベビーカー利用者や高齢者にも安心してビーチを移動できます。

さらに、車いすのまま海の中に入ることができる水陸両用アウトドア車いす「ヒッポキャンプ」

も導入し、無料で貸し出しをしています。

また、2019年からは車いすのまま利用できるシャワー室などを設置した無料の障害者利便施設「須磨ユニバーサルビーチベース」の管理もしています。

これまで遠くから眺めることしかできなかった海を、誰もが波打ち際まで行って一緒に楽しむことができるようになりました

UDビーチの利用者は年々増えており、ビーチマットを砂浜に敷いて3回目となる2019年のシーズンには約130組、450名が利用しました。



ビーチマットを通る水陸両用アウトドア車いす「ヒッポキャンブ」



施設「須磨ユニバーサルビーチベース」

## 様々なUDアウトドア活動も

須磨UBPは2017年から、自然の中で誰もがアウトドア活動を楽しめる取り組みもしています。

これまでに、障害者と健常者が一緒になってできる海水浴、山登り、木登り、牧場での搾乳、畑での収穫、地引網漁、田植え、スキー、SUP(スタンドアップパドル)などを実施してきました。

どれも「諦めていたけどチャレンジしてみたい」という意見を基に、一緒に実現しています。

これまでの主なアウトドア活動のイベントは下記の通りです。動画もぜひご覧ください。



ビーチマットを敷いた畑で収穫作業

### ●地引網×須磨UBP

2018年5月と9月に地引網イベントを開催。ビーチマットを敷き、障害の有無に関係なく地引網を楽しみました。

各回約100人の参加者みんなで地引網体験の後、捕った魚介と地元食材でつくった料理を楽しむなど、食育の要素も盛り込んでいます。

<https://www.youtube.com/watch?v=WHtJ4nNARZM>



車いすのまま地引網をひく

## ●スタンドアップパドル(SUP)×須磨 UBP

「メガ SUP」と呼ばれる巨大な SUP ボードと水陸両用車いすを活用し、車いす利用者も一緒に SUP を楽しむコンテンツを2019年10月に試験的に導入しました。

海賊のように遊ぶ面白さと安全面の両方を確保しながら、沖から見るビーチの景色を楽しみながら遊ぶことができました。

<https://www.youtube.com/watch?v=Z-FgS2xIEEQ>



メガ SUP に乗って水面で遊ぶ

## ●みんなで海中清掃×須磨 UBP

社会課題である海洋環境保全に積極的に取り組むネスレ日本(株)と共同で、「障害者が地球を救うんだ!」という強い意志をもって、ビーチではなく海に入って海中を清掃するイベントを2019年8月に開催しました。

また、マイクロプラスチックごみなどの環境教育や企業の環境への取り組みについても学びました。

最後に、各参加者が自分なりの行動宣言を紙に書きました。

<https://www.youtube.com/watch?v=bvfk92XnAFs&feature=youtu.be>



海に入って海中を清掃

## ●田植え体験×須磨 UBP

2019年5月にみんなで田植え体験を開催しました。水陸両用車いすの後輪をサーフボードに差し替え、田んぼの水面を浮くことで田植えを実現しました。

障害者の大人と子どもも、健常者も一緒に田植えを行い、その後は同じ田んぼで収穫したお米をはじめ地元の料理をいただきました。

<https://www.youtube.com/watch?v=zq7A54cloKs>



車いすのまま田植え

## ●木登り×須磨 UBP

大人から子どもまで木登りを楽しむ「ツリーイング」というアウトドアスポーツがあります。そのスポーツを応用し、水陸両用車いすとローピングの技術を組み合わせることで、車いす利用者も一緒に木登りを楽しめるイベントを2018年11月に行いました。

映像はお父さんと障害のある高校生の娘さん、小学生の息子さんが一緒に木登りを楽しむ様子です。

<https://youtu.be/Yb--Tu7HhDo>



家族一緒に木登り

## ●山登り×乗馬体験×須磨 UBP

神戸にある「六甲山牧場」と「六甲バター(Q・B・B チーズ)」と共同で、搾乳体験→ミニチュアホースと散歩→ピザづくり体験→乗馬体験という、プログラム盛りだくさんのイベントを 2019 年 9 月に開催しました。

障害の有無に関係なく、六甲山で遊び尽くしました。みんな協力すれば乗馬だってできる、それを示せたイベントでした。

<https://youtu.be/IRS1M-oJg9I>



みんなで乗馬体験も

## 心の UD 化と障害者の社会進出へ

須磨ビーチではここ数年、目に見えて車いす利用者の来訪が増えています。周辺住民や利用者にとって、障害者とその家族が健常者と混じって海水浴を楽しんでいる景色が当たり前になっています。

誰もが分け隔てなく楽しめる環境が日常になり、偏見のないコミュニティが醸成されてきています。健常者と障害者の区別なく、そこで出会った人のチャレンジと一緒に楽しみ、諦めていたことが「できた！」ときの達成感と感動を共に味わう、そんな場と機会の創出ができています。

そして、今まで諦めていたことが実現できる成功体験がポジティブな活動を産み、障害者が戦力として社会に進出し、障害が個性と認められる UD 社会に繋がっていくことを願っています。

## みんなで作る UD ビーチ 須磨から全国へ

我々の活動に共感してくれた方たちの要望をうけ、須磨 UBP は日本全国で同様の取り組みを展開し始めています。

例えば、「出張ビーチマット」と題して須磨ビーチで導入したビーチマットを日本全国のビーチにレンタルしたり、須磨 UBP スタッフを派遣して出張イベントを実施したり、愛知県知多郡南知多町に「南知多ユニバーサルビーチプロジェクト」という兄弟プロジェクトが発足するなど、活動が伝播しています。

須磨 UBP は、今では障害者と健常者が年間延べ 2,000 人以上関わる活動になりました。活動としてはまだ初期段階ですが、最大の強みは人であり、思いを共感する人たちに支えられています。

ビーチマット設置や水陸両用車いす貸し出しには多くの人手がかかるため、当初は活動を広げていくことが難しいと考えていました。しかし、人手が多く必要であることが逆に人を引きつけ、多くの方が主体的に関わる場になっています。

ハード整備によって UD 化をしても、すべての方にバリアなく使える施設や場になることは困難です。ハード整備と並行してたくさんの人の手が関わり続けることで、すべての人が使える柔軟で心の通った UD の場ができていきます。

須磨に集う人たちの作り出す場に居心地の良さを感じ、須磨をサードプレイス(自宅でも職場でもない心地よい第 3 の居場所)として何度も訪れてくれる方が多くいます。

この場づくりそのものに共感した人たちの力で、これからも日本全国に同様の取り組みを増やし、真の UD 化を進めていきたいと考えています。

※「須磨ユニバーサルビーチプロジェクト」の詳細は[こちら](#)をご覧ください。





## 持続可能な共生社会の実現に向けて 「IAUD 国際デザイン賞 2020」募集開始

IAUD は、一人でも多くの方が快適で暮らしやすい UD 社会の実現に向けて特に顕著な活動の実践や提案を行なっている団体・個人を表彰する「IAUD 国際デザイン賞 2020」の募集を開始しました。

審査委員会が最も優れていると判断したものに「大賞」を授与するほか、部門別に「金賞」「銀賞」「銅賞」を予定しています。

第 1 次審査応募締め切りは 7 月 15 日(水)です。皆様の応募をお待ちしております。

「IAUD 国際デザイン賞 2020」の詳細は[こちら](#)をご覧ください



IAUD 国際デザイン賞 2019 の表彰式の様子  
(東京・赤坂、2019 年 12 月)



## 字幕付 CM の更なる普及のために CM 字幕プロジェクト アンケート実施中

CM 字幕の普及を目的に活動している CM 字幕プロジェクトは、今後の活動の参考にするために、字幕付 CM や動画、メディア接触状況など商品情報入手に関するアンケート調査を IAUD の公式サイト上で実施しています。

ぜひ皆さまのご協力をお願いします。

CM 字幕アンケート 2020 は[こちら](#)をご覧ください。

CM字幕に関するアンケート

IAUD主催のCMプロジェクトではCM字幕普及の取り組みを行っております。活動の参考とするため、以下のCM字幕に関するアンケートにご協力ください。全問必答です。5分程度で終わります。

(1) 性別は？

- 女性
- 男性
- その他

(2) 年齢は？

- 10代
- 20代
- 30代
- 40代

オンラインで実施中のアンケート調査



## 海外でも大反響！ 新型コロナウイルス感染対策 簡単なマスクの作り方をご紹介します

IAUD では新型コロナウイルス感染を防ぐ対策のひとつとして、ハンカチを使って簡単にできるマスクの作り方の動画をホームページで紹介しております。

英語・スペイン語でもご紹介したところ、マスク着用習慣のない海外の方にも大きな反響がありました。

詳細は[こちら](#)をご覧ください。



ハンカチで簡単に作れるマスク



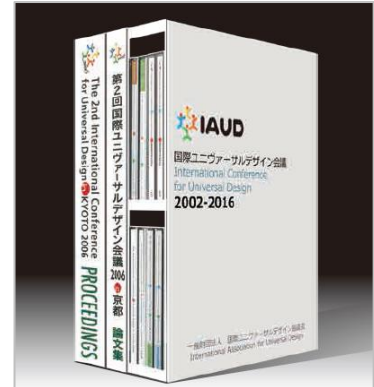
## 国際 UD 会議の軌跡から UD を学ぶ

「国際 UD 会議 予稿集・論文集・講演集 2002～2019 年」数量限定販売

国際 UD 会議開催 15 周年を記念して販売された 2002 年から 2016 年まで 6 回開催された国際会議の予稿集・論文集・講演集セットに、2019 年にバンコクで開催された国際会議の論文集と報告書を追加して再度販売します。

ぜひこの機会にお買い求めいただき、学際的・業際的な広がりを見せる UD の国際的知見に触れてください。

内容の詳細やお申込み方法は[こちら](#)をご覧ください。



国際 UD 会議 予稿集・論文集・講演集 2002～2019 年

---

※新型コロナウイルス対策のため、政府より不要不急の外出の自粛が要請されていることを受け、IAUD では研究部会等の行事開催を一部見合わせております。

次号は 7 月上旬発行予定

特集:IAUD 国際デザイン賞 2019 受賞紹介⑥ほか

一般財団法人国際ユニヴァーサルデザイン協議会  
事務局:〒225-0003 横浜市青葉区新石川 2-13-18-110  
電話:045-901-8420 FAX:045-901-8417 e-mail:info@iaud.net